

〔科目名〕 人間の心理	〔単位数〕 4 単位	〔科目区分〕 教養科目(第1群)
〔担当者〕 鈴木 郁生 SUZUKI Ikuo	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業開始時に明示する 場所: 614 研究室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 心理学は「こころ」そして「人間」を対象とする学問である。その対象は、人間がどのようにものを見ているのか、どのようにして思い出を積み重ねていくのか、あるいは個性を形作っているものは何なのか、など多岐にわたる。これまでの心理学研究によって、人間の「こころ」の意外な働きについて多くのことが分かってきた。本授業ではこうした心理学の基礎について学び、人間とその心理について考えていきたい。 授業の前半では感覚・知覚、記憶、注意などの認知領域を主に扱う。後半では主に社会心理学的な視点を基礎として、対人認知、対人魅力などを扱う。半年という短い期間であるが、心理学の基礎的な知識を身につけてもらいたい。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか」 普段気にしないようなことでも、見方を変えれば興味深いことが沢山あるものである。心理学について学ぶことで、たとえば「ものを見る」ということ一つをとっても様々な不思議が隠されていることが分かってもらえるだろう。本授業では、人間とその心理に対する新たな視点を得、人間についての理解を深めることが期待出来る。また日常的な事柄と結びつけて考えることで、生きた教養としての有用な知識を獲得出来るだろう。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 本科目の到達目標は、心理学の基本的な知識を獲得することである。 中間目標としては、感覚・知覚、記憶、注意といった人間の認知過程に関わる知識を身につける。そして授業の後半では、集団の心理など主に社会心理学的な過程についての理解を深める。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 概ね授業評価では肯定的な評価をしてもらっている。また授業環境についても引き続き気を配っていく。		
〔教科書〕 なし		
〔指定図書〕 なし		
〔参考書〕 授業時に適宜紹介する。		
〔前提科目〕 なし		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 期末試験を実施する。授業中に課題等を課すこともある。詳細は授業時に示すが、自由レポートも受け付けており、それによって加点する場合もある。		
〔評価の基準及びスケール〕 A: 100～80 点 B: 79～70 点 C: 69～60 点		

D: 59～50 点

F: 49～ 0 点

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

授業を展開するにあたって、体験的な実験等を行う予定である。授業内容の理解に有用なものであるため積極的に参加するようにしてもらいたい。

また受講者の理解が進むよう、具体的な例を挙げながら授業を進める予定である。受講者も好奇心を持ち、自らの経験等に照らしながら学習を行ってもらいたい。

〔実務経歴〕

該当なし

授業スケジュール

第1回	テーマ(何を学ぶか):ガイダンス 内 容:心理学とは何か、そして授業展開について解説する。また心理学の歴史及び研究法について紹介する。 教科書・指定図書
第2回	テーマ(何を学ぶか):感覚 内 容:人間がどのように環境を把握しているのかを理解するために、人間の持つ感覚およびその機能について概説する。 教科書・指定図書
第3回	テーマ(何を学ぶか):感覚・知覚 内 容:比較的高度な認知機能に関わる知覚の基礎について学ぶ。 教科書・指定図書
第4回	テーマ(何を学ぶか):知覚 内 容:知覚的体制化など知覚システムの特性について学ぶ。 教科書・指定図書
第5回	テーマ(何を学ぶか):知覚と錯覚 内 容:錯視を中心に、知覚システムについて学ぶ。 教科書・指定図書
第6回	テーマ(何を学ぶか):記憶(感覚記憶・短期記憶) 内 容:人間の記憶過程について学ぶ。特に記憶の区分、そしてその中でも感覚記憶、短期記憶について学ぶ。 教科書・指定図書
第7回	テーマ(何を学ぶか):記憶(ワーキングメモリ) 内 容:短期記憶を踏まえ、ワーキングメモリの特性について学ぶ。 教科書・指定図書
第8回	テーマ(何を学ぶか):記憶(長期記憶) 内 容:感覚記憶・短期記憶に引き続き、長期記憶のメカニズムについて概説する。 教科書・指定図書

第9回	テーマ(何を学ぶか):忘却 内 容:記憶情報の忘却に関する理論や知見を紹介する。 教科書・指定図書
第10回	テーマ(何を学ぶか):記憶の理論と現象1 内 容:記憶の代表的な理論と、様々な知見から得られた現象について解説する。それに基づいて、記憶のメカニズムについて考察する。 教科書・指定図書
第11回	テーマ(何を学ぶか):記憶の理論と現象2 内 容:日常的な記憶現象を基に、記憶のメカニズムについて考察する。 教科書・指定図書
第12回	テーマ(何を学ぶか):感情1 内 容:感情(主に情動)の基本的な理論および知見を紹介する。 教科書・指定図書
第13回	テーマ(何を学ぶか):感情2 内 容:引き続き、感情の基本的な理論を概説する。 教科書・指定図書
第14回	テーマ(何を学ぶか):情動と認知 内 容:情動と認知の関係について、最近の知見に基づいて紹介する。また感性についても学ぶ。 教科書・指定図書
第15回	テーマ(何を学ぶか):注意 内 容:注意の理論について学び、人間のもつ注意のメカニズムについて考察する。 教科書・指定図書
第16回	テーマ(何を学ぶか):注意2 内 容:注意理論の変遷を踏まえ、注意研究の進歩について学ぶ。 教科書・指定図書
第17回	テーマ(何を学ぶか):対人認知1 内 容:社会心理学的な視点から自己について捉える。具体的には、印象形成、自己呈示に関する基本的な解説を行う。 教科書・指定図書
第18回	テーマ(何を学ぶか):対人認知2 内 容:自己評価および自尊の影響について考察する。 教科書・指定図書
第19回	テーマ(何を学ぶか):対人認知3 内 容:対人魅力など対人認知に関わる要因と行動特性について、実生活と結びつけて解説する。 教科書・指定図書
第20回	テーマ(何を学ぶか):対人認知4 内 容:対人魅力に関わる知見を紹介する。 教科書・指定図書
第21回	テーマ(何を学ぶか):対人認知5 内 容:対人魅力について、色彩理論を含めて解説し、行動の類型について考察する。

	教科書・指定図書
第 22 回	テーマ(何を学ぶか):行動理解の理論 内 容:人間行動の理論についてバランス理論を中心に学び、自己の行動の原理について理解を深める。 教科書・指定図書
第 23 回	テーマ(何を学ぶか): 集団の心理1 内 容: 集団規範や凝集性など、集団における心理の基礎について概説する。 教科書・指定図書
第 24 回	テーマ(何を学ぶか): 集団の心理2 内 容:援助行動など集団の中で発生する行動や心理について学ぶ。 教科書・指定図書
試 験	
第 25 回	テーマ(何を学ぶか):思考 1 内 容:人間の思考の特性について学ぶ。 教科書・指定図書
第 26 回	テーマ(何を学ぶか):思考 2 内 容:引き続き人間の思考及び行動特性について学ぶ。 教科書・指定図書
第 27 回	テーマ(何を学ぶか):思考の理論 内 容:人間の思考の特性に関する基礎的な理論について学ぶ。 教科書・指定図書
第 28 回	テーマ(何を学ぶか):ヒューマンエラー 内 容:ヒューマンエラー、すなわち人間の失敗をテーマとして、認知過程についてアプローチする方法について概説する。 教科書・指定図書
第 29 回	テーマ(何を学ぶか): パーソナリティと自己評価の理論 内 容: パーソナリティと自己評価の理論について概括する。またその歴史的な展開についても学ぶ。 教科書・指定図書
第 30 回	テーマ(何を学ぶか): パーソナリティの把握 内 容: パーソナリティの把握の方法の基本について理解する。また性格検査の紹介を行う。 教科書・指定図書